

令和 2 年度 第 2 回小牧市観光振興基本計画改定委員会 会議録

日 時	令和 2 年 10 月 27 日（火） 13 時 30 分～14 時 15 分
場 所	小牧市役所本庁舎 4 階 402 会議室
出席者	<p>【委員】（名簿順）</p> <p>池田 洋子 学校法人同朋学園 名古屋造形大学 特任教授/小牧山整備計画審議会 会長/小牧市文化財保護審議会 会長 【副委員長】</p> <p>松浦 秀則 一般社団法人小牧市観光協会 会長/あおい交通株式会社 代表取締役</p> <p>三輪 洋一郎 小牧商工会議所 中小企業相談所次長兼経営支援課長/小牧商工会議所 名古屋コーチングプロジェクト 構成員</p> <p>関 和男 名鉄小牧ホテル 営業担当支配人</p> <p>堀岡 昌弘 尾張中央農業協同組合 相談部 ふれあい課 課長</p> <p>小幡 一久 株式会社フジドリームエアラインズ 営業本部 営業部 担当部長</p> <p>鵜飼 公俊 小牧観光ボランティアガイド 会長</p> <p>八木 裕介 一般社団法人小牧市観光協会 事務局 次長</p> <p>竹内 隆正 小牧市 地域活性化営業部 次長 【委員長】</p> <p>【事務局】</p> <p>村田 吉隆 地域活性化営業部 シティプロモーション課 課長</p> <p>堀田 幸子 地域活性化営業部 シティプロモーション課 課長補佐</p> <p>長谷川 愛 地域活性化営業部 シティプロモーション課 観光振興係 係長</p> <p>大塚 一平 地域活性化営業部 シティプロモーション課 観光振興係</p>
傍聴者	0 名
配布資料	資料 1 小牧市観光振興基本計画（with コロナ版）（仮称）

主な内容

1. 開会

【事務局】

定刻となりましたので、会を始めさせていただきます。

本日は、お忙しいところ、小牧市観光振興基本計画改定委員会にご出席を賜り、まことにありがとうございます。

それでは、第2回小牧市観光振興基本計画改定委員会を開催させていただきます。

なお、本日傍聴希望者はありません。

初めに、竹内委員長よりごあいさつをいただきたいと思います。

【竹内委員長 あいさつ】

本日は、お忙しい中、第2回小牧市観光振興基本計画改定委員会にご出席いただきましてありがとうございます。第1回の委員会では今回のコロナ版の計画に加え、小牧市の今後の観光振興の着想についても議論や情報提供をいただきありがとうございました。コロナ収束後の改定においては、前回、そしてもちろん今回の委員会の意見についても引継ぎ進めてまいりたいと考えております。

一方で今回のコロナ版の計画についても、この状況を乗り越えていく上では重要なものになってくると考えておりますので、ぜひ委員の皆様には、前回に引き続きそれぞれのお立場から活発なご意見をいただきたいと思います。

どうか皆様よろしく願いいたします。

【事務局】

ありがとうございます。それではここで前回の会議録と本日の議事について説明させていただきます。なお、前回の委員会を鑑みてwithコロナ版の計画について、今回の会で大きな変更を要するご意見がなかった場合は、全3回の予定ではありましたが、今回の会議で終了としたいと考えております。

前回の会議録について、委員の皆様方に確認をしていただき、確定したものについて、お手元に配布させていただいています。

今回の議事は前回に引き続き、小牧市観光振興基本計画（withコロナ版）の施策の立案等に対し、より深掘りしていきたいと考えています。

では、この後の進行については、竹内委員長お願いします。

2. 議題

(1) 小牧市観光振興基本計画（with コロナ版）（仮称）について

【委員長】

それでは、議題に入ります。

小牧市観光振興基本計画（with コロナ版）について事務局より説明をお願いします。

○事務局より、資料1に基づき、説明。

【事務局】

まず、前回の振り返りですが、はじめに with コロナ版計画の事務局案の全体を説明し、皆様から概ねご了承いただきました。その後、小牧山の駐車場やトイレ、物販について皆様からご意見をいただきました。

それでは次に、前回の計画案から変更させていただきました箇所についてご説明いたします。

5ページの第5章をご覧ください。この第5章の観光推進施策を記載している上段になりますが、読み上げさせていただきます。「下記において、新たな観光推進施策を示すが、具体的な展開方法については、それぞれに詳細設計が必要であるため、今後の進め方としては、新型コロナウイルス感染症及び国内外の観光の状況を随時確認し、関係者らによる協議の場を設けるなどしながら具体的な展開方法や追加すべき施策を検討していく」という文章を追加いたしました。

コロナウイルスの感染状況や観光を取り巻く状況などが日々変動するなかで、必要があればこの計画を見直し、状況に合った施策を臨機応変に実施していくことが必要であることから、今回加えさせていただくこととしました。

本日は、この5章で挙げた8つの観光推進施策を中心に皆様のご意見をいただきたいと思います。まずは前回の繰り返しにはなってしまいますが、各施策について、現在事務局で想定している具体的な内容について説明させていただきます。各施策の具体例などを載せた資料をお手元に配布しておりますので、併せてご覧ください。

国、愛知県等の施策への事業者の参画支援についてですが、これは例えば国が実施するGo Toキャンペーン事業などへ本市の事業者が参画していただくよう、情報提供などの支援を行うものです。また愛知県と連携し、本市の観光情報の提供や愛知県が実施する各種事業への参画を想定しています。例えば、これまでにGo Toトラベルキャンペーンの情報提供や説明会の案内など、観光協会さんが中

心となり事業者の参画にむけ取り組んでいただいているところです。

続いて、小牧山自然マップのオンライン公開整備ですが、付属資料 1 に記載させていただきます。

これは、平成 29 年に小牧山への誘客を推進するため、小牧山の魅力を掘り起こし、その魅力を伝える方策を検討した「小牧山観光誘客推進プロジェクト」において、小牧山の自然が大きな魅力の一つとして挙げられたことに対し、それを発信する手法として考えたものです。具体的には Web 上で小牧山において見ることのできる四季折々の自然を公開し、後々、小牧山に行って観察してみようというように誘客につなげていきたいと考えています。小牧山の自然については、資料にもありますが、現在、市内で教師をされていた清水先生にご協力をいただき、先生が実際に小牧山に行って撮ってきていただいた写真にコメントを加え、小牧山の自然観察として観光協会のホームページに定期的にアップしています。これを季節ごとに鳥や虫といったジャンルごとに分けて、先生ならではのコメントを載せて、閲覧者に楽しんでもらえるようなものを想定しています。

この自然マップの整備は、遠足など教育旅行にも小牧山が活用されているように様々な取り組みが現在されており、そういった動きともリンクできるのではないかと考えています。

続いて、小牧山周辺バーチャル街歩きマップの整備です。付属資料 1 の下段に記載させていただきます。

これは、オンラインを最大限活用した小牧市の魅力発信及び非来訪型観光の実現の施策として実施しようとするもので、VR を利用して Web 上で家に居ながら街歩きをしているような感覚が楽しめるマップの制作を想定しています。駅から小牧山までを範囲とし、画像や動画を見ながらエリアを Web 上で散策できるような仕様を想定しています。特に小牧山内は埋め戻しなどにより今は目に見えないものもありますので、発掘調査の画像データなどを添付して、元あった姿を想像していただけるものにしていきたいと考えています。これはできるだけ早い運用開始を目指していきたいと考えています。

続いて、既存パンフレットの電子化、オンライン公開整備です。

これは小牧市観光協会で作成しているパンフレットを観光協会のホームページで電子化して公開しようとするものです。コロナ禍ではなるべく接触を避けるなどの対策がとられていることから、こうしたオンライン化は積極的に進めていかなければいけないと考えます。これは観光協会と調整し、できれば早い段階で実

現していきたいと考えています。

次に、地域産品のオンライン通販整備についてですが、これも非来訪型観光の実現の施策として実施しようとするもので、Web上で小牧のお土産や特産品などが買えるように整備を進めようとするものです。小牧発祥の名古屋コーチンの肉などは、なかなかお土産として取り扱うことが難しいことから、こういった折に取り組んでいきたいと考えています。これについては、現在、小牧商工会議所さんのほうで、「みやげっと」というカタログギフトをネット上で販売するソーシャルギフトサービスを利用してコーチンの肉を取扱うことを計画されています。三輪委員から少し、ご説明いただければと思います。

【三輪委員】

今説明のあったこのオンライン通販についての整備ですが、これまでもお土産販売については、観光推進という面では重要な部分だと考え、出来る限り実店舗いわゆるお土産屋さんというものを増やすように動いてまいりました。県営名古屋空港の県の絡みでやっている売店の「まるっと！あいち」ですとか、ここは空港という立地でお客さんも多いのでそれなりに売れていると、他には名鉄小牧ホテルさんやルートインさんには、フロント横に売台を置かせていただいて、地元の事業者さんの商品を並べて販売していたのですが、これもなかなか通常毎日売れるものではないです。たまたま、今Go Toとの絡みでクーポン券を貰えるので、そのまま販売していただけるとのことで、毎日だいぶ売れているようです。こういった実店舗のお土産販売は努力してきたのですが、なかなか思うように数が広げられないというようなことがあって、やはり課題としては、関わる事業者さんに継続的にやっていただかないといけない、継続性、持続性といったところが一番問題で、コンスタントに少しでも毎月売上が見通せるならば、続けていただいているのですが、なかなかそういう見通しも立たないので、事業者さんがリスクばかりで、特に食品などを扱うと結局賞味期限があって、廃棄ロスや自社で社内販売をして処分するとか、そういったことでなかなか続けていただけないのが現状です。折角奨励金や助成金を出したりして、開発していただいたり、商品化していただいたりしてもなかなか続かないです。実店舗を造っていくことが理想なのですが、こういう時代なのでオンライン、webで販路拡大していく方法も遅いかもしれないですが、やっていかなければいけないということで考えています。

ふるさと納税は寄付という一つ目的があって、それに付随する返礼品なのですが、今会議所で取り組もうとしているものは完全なギフト、自分で買うことも出

来ますし、小牧に来ました、又は小牧出身の方がどこか別の人に、知人、友人、知り合いなどに送ってあげるといふ時に、オンライン上でカタログギフトの形の三千円、四千元、五千元などのコースのなかで選んで送るものです。例えば、私がおのサイトから買ひ、竹内委員長に送ります。メールやラインなど色々な方法がありますが、竹内委員長に送る、竹内委員長はそこから自分の好きなものを選んで受け取るだけ、そういった仕組みのものを構築しようとしています。こういったものをホテルの客室やれきしるこまき、色々な観光施設などでもいいのですが、そういう所に置いてですね、商品は並んでいないけれども、QRコードを携帯で読み込めば商品の一覧が出てきて、それを持って帰るわけではないけれども、後で送ってもらうようにする、また別の人にギフトで贈るといったものを進めています。実店舗がなかなか広がらない中で、こういったインターネットを活用したお土産販売を作っていこうとしています。これであれば事業者さんも発注が来ないと発送しないことから、それほどリスクはないと思うので、長く続けていただけるかなと考えています。

【事務局】

ありがとうございました。こういったものを活用しながらネット販売の拡大につながればと考えています。

次に、観光施設、観光資源のPR動画オンライン公開整備ですが、これはオンラインを最大限活用した小牧市の魅力発信及び非来訪型観光の実現の施策ですが、YouTube や Instagram など SNS を使用した情報発信です。例えば YouTube によるガイド動画の公開などを想定しています。

一例ですが、おうち時間が増えたこともあり、名古屋コーチンを家で食べていただくというコンセプトで、商工会議所さんが中心となって、市内の飲食店にレシピを考えていただき、レシピ動画を作成して YouTube にアップするというを、最近していただきました。

YouTube は情報拡散効果が見込めるツールですので、積極的に取り組んでいきたいと考えています。委員の皆様にも何かいいアイデアなどございましたら、ご提案いただければと思います。

次に、付属資料2に記載させていただいています、感染防止対策の情報公開に使用可能なピクトサインの作成、提供ですが、安心安全な旅の提供を実施する施策で、小牧市のロゴマークを流用したピクトサインを作成し、事業者の方々が実施している感染防止対策の啓発のために自由に使用してもらおうといったもので

す。これもできるだけ早く整備していきたいと思います。

最後に、付属資料2の下段に記載させていただいています、観光施設のオープン状況、感染防止対策情報の一元化、オンライン公開整備です。

サイトイメージを記載していますが、これは安心、安全な旅の提供の施策として実施しようとするもので、本市を観光する際に、知りたいと思うコロナ対策情報などを集約して提供することを想定しています。観光協会が主体となって取り組んでいただくことになるとは思いますが、これもできるだけ早急に運用開始されるよう、進めていきたいと思います。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。今、事務局から8つの施策について具体例を挙げて説明をいただきましたけれども、今の内容についてご意見ご質問がありましたらお願いしたいと思います。ざっくばらんでいいと思いますので、積極的に発言いただければと思いますが、いかがでしょうか。

【委員長】

先ほど、三輪委員からオンラインによる通販整備の説明がありましたが、今はコロナでなかなか制約があるとは思いますが、鵜飼委員にお尋ねします。小牧山に初めて来られた人がお土産や小牧についての質問もあったりしますか。

【鵜飼委員】

ありますね。

【委員長】

どのような内容が多いですか。

【鵜飼委員】

小牧のお土産は何ですかとか、どこでお食事したらいいのですかとか。そういう質問はまあまあありますね。

【委員長】

いわゆる一般的なオーソドックスな質問ということですね。これはと思った何か印象に残った質問とかありますか。

【鵜飼委員】

これはというようなことはあまり思いつきませんが、お土産などの質問はなかなか難しいですとしかいいようがないですね。小牧の現状を知っていますので。

【三輪委員】

当然会議所にも観光協会にも問い合わせがあると思いますが、なかなかお土産となると紹介する所がないですね。飲食店であれば、小牧特有ということであれば、それなりにあるとは思いますが。

【鵜飼委員】

小牧山の周辺にないというか、あると言われればそれまでだけれど、市役所の6階に行ってくださいとか、ドンキのスガキヤおいしいよとか、デニーズだよということになりますよね。ちょっと離れた所でKANや山の北に行くと例えば三八屋だとか、気軽に寄れるということだと限定されてしまいますよね。しかも、私の責任でもあるのですが、駅まで行く間に一軒もそれらしい食事処がないですよ。全部姿を消したわけです、昭和のお食事場所が。だから飲食店のことを言われるとドキッとします。

ついでにお話しすると、今コロナでお客さんが来ていないわけではないです。来ています。無茶苦茶来ています。コロナになる前より、今現状小牧山すごいことになっています。この間の日曜日には600人来ています。観光バス抜きです。これに加えてクラブツーリズムやJTBが来たら、パニックです。普通の家族連れがマイカーで来るだけで600人来ていますから。それを考えるとすごいなど。対策抜きでもいいのではないかと思います。怒られてしまいますが。東京や大阪からもよく来られています。

【委員長】

エリアとしては広範囲から来られているのですか。

【鵜飼委員】

昨日も神戸です。日曜日が桶狭間のガイドさんたち、土曜日が東京、これも江東区の方で、一人で来たよと。

【委員長】

来られたきっかけは、どういったことなのですか。

【鵜飼委員】

やはり城めぐりです。「麒麟がくる」の影響が残っているのか残っていないのかは分かりませんが、とりあえずあれから土曜日、日曜日は凄いことになっています。平日は収まっていますが、土曜日、日曜日は去年と比べると圧倒的です。2倍、3倍ぐらい来ています。それと3日前には安八町の中学校が修学旅行で来ました。バス4台で来ています。岐阜から修学旅行が小牧山ですよ。もう少し行くところがあつたのではないかとともに思いますが、どこで泊まると聞いたら、また

岐阜に戻るらしいです。自分の所でホテル代を使わせようということで、愛知県で泊まっただけではいけないらしいです。岐阜の中学校は、岐阜で泊まらなければいけないという。1泊なのか2泊なのかは分からないけれども、小牧の後は明治村とかりトルワールド行くよということでした。朝9時に来て、10時に帰って行ってしまいました。そういった現状もあります。

【委員長】

ありがとうございました。今のお話であれば、観光案内所さんも連動して来所者数は増えているのですか。

【八木委員】

土日に関していうとかなり増えておりまして、先ほど鶴飼委員から話がありましたが、やはり案内所でお話を聞くと「麒麟がくる」を見てという方が多いです。この効果が続いていて、放送を見てすぐには行けないけれども、1ヶ月か2ヶ月経ってから、ようやく行けるかなという方が来ているのではないかなとは思いますが。主に関東方面の方が多いです。

【委員長】

そうすると、公共交通機関を使ってこられると。

【八木委員】

そうですね。新幹線とか。

【委員長】

年齢層も上から下までバラバラな感じですか。

【八木委員】

どちらかというところ、やはり高年齢の人が多いです。

【鶴飼委員】

平日に来るというとリタイア組ですから。

【三輪委員】

それだけ遠いところから来るというと、記念のお土産一つ買えないということ寂しいですね。

【鶴飼委員】

本当は市役所の1階にでも売店を置ければ、一番いいよねと思いますが。

【委員長】

あと例えば、農協さんと全国から小牧市の特産物、農産物の問い合わせなどはありますか。桃や葡萄などをふるさと納税でも一部取り扱っていますが、直接

農協さんに問い合わせがくるということはありませんか。

【堀岡委員】

全国的に言うところの地域は、農業主体ではない地域ですけれども、やはり桃です。桃は篠岡の桃ということで、その時期には非常に多くの方が産直施設に来られますし、問い合わせであれば、どこで買うとおいしい桃が買えますか、農家さんを紹介してくださいなどのお話は農協の本店によく入ります。ただ残念なことに私どもの管内の主産物というのは、桃、葡萄、あと小牧でいうとえび芋、名古屋コーチンなどでございますので、一極集中で毎月あるものではないです。

【委員長】

季節限定ですかね。

【堀岡委員】

これから色々やっていかないといけないとは思っていますが。あと久保一色の梨や無花果などもあります。やはり高年齢化で次世代がいなくて、今唯一農産物で次世代が展望を見られるのが葡萄で、葡萄農家の方は次世代が今の仕事を辞めてでも転職してやっていただけるくらい流通はしていますが、他はなかなか後継者がいない現状です。

【委員長】

ありがとうございます。今ちなみに観光協会さんの推奨品は何品ぐらいでしたか。

【八木委員】

今は10店舗で29商品を認定していて、来年の12月末までの期間で認定中です。来年また選定会を行って一新する予定です。

【委員長】

来年は品目が増える見込みがありますか。

【八木委員】

減る可能性もありますが、増やしたいという思いのもとでやっていきます。

【委員長】

他にも委員の皆様、お気づきの点があればぜひ忌憚のない意見をいただければと思います。

【松浦委員】

折角FDAさんが見えられているのでお伺いしますが、FDAさんを使ってだとやっぱり名古屋に行ってしまうか。FDAさんがせつかく各地に路線を引っ張

っておられるので、小牧の観光に繋がるような何か策はありませんか。

【小幡委員】

例えば、名古屋から見た時の就航先さんが今取り組んでいらっしゃることをご報告させていただきます。これはコロナの前後に関わらず、非常に観光の予算を県でも持っている、例えば私が出雲路線の担当ですから出雲市も持っている、その隣の松江市も持っている。またそれぞれに連なる観光協会さんもいらっしゃる。そういう中で例えばですけれども、人を集めることに対してやっておられるのは、個人あての色々な SNS などは次において、まずは私どもの便を使ってどれだけ人を集めるかということをやっておられるので、旅行会社さんに対していろんなアプローチをされていらっしゃいます。名古屋側の旅行会社に対して、例えば出雲空港では路線を使ってもらえればこんないいことがありますということとして、私どもの1席に対していくら助成します、といったことや、もう一つは到着してからの二次交通に対して、バスの助成もそうですし、今密になることを嫌う方に向けては、バスの定員を半分以下にしたら例えば10万円ですとあるとか、そういった政策をやっているところもあります。レンタカーやタクシーなどの二次交通の助成に非常にたくさんの予算を割いている。

また松江市さんは、当然出雲というとみんな出雲大社に行ってしまう、松江城まで来るかどうかわからないといったことで、例えば私どもの便を使っていたら、さらに松江市内で宿泊していただけたら、宿泊費に対して1泊3,000円ですとかそういった補助しますので、ぜひ松江に来る商品を作ってくださいということを非常に一生懸命やっています。旅行会社に対するアプローチを、お金を使ってやっていらっしゃる。今特にコロナの状況になりましたら、追加予算でそういうものをたくさんやっていらっしゃる。旅行会社さんも条件がいい方を選んでくるというところが正直な所かなと思う。ですから、小牧に来てくださいというところだと来やすい環境づくりと目的地を縛るといふか絞るといふか、なにかを利用する代わりに必ず小牧に寄るような、そういった仕組みを作っている所は色々参考になるのではないかと思います。

折角色々なお土産の話が出ましたので、私どもの機内で配れるお菓子などで、例えばコモさんのパンを出していたり、青柳ういろうさんの一口ういろうを出していたりしますが、例えば高知県さんの場合はこちらから高知へ行く便が3便ありますが、そこで高知県さんが高知県内のお菓子屋さんのお菓子を買って、私どもにご提供いただいている。そして、この便にはこのお菓子を提供して

ほしい、この便にはこのお菓子を提供してほしいということで、小牧から乗った方が機内で食べて、これ美味しいねということで高知空港で買う、ということを高知県さんは毎年 11 月から 3 月まで月替わりで行っている。今なかなかお土産の状況もかなり苦しいと思いますので、無償で出し続けるというのもなかなか難しいものですから、そこを高知県さんが県として買い上げてそれを私ども、私どもだけではなくて JAL さんの方にも同じことをしているのですが、なかなか実際食べてみないと美味しさは分からないものですから、食べてもらって高知空港で買ってもらう。そのきっかけづくりと実際に買う場所を用意していらっしゃるというのが高知県さんの例です。

あともう一つ、新潟県さんは私どもの十二号機、あの白い機体の座席のヘッドレストカバーが広告になるので、そのご発注をこの 10 月からいただきました。そこで、新潟県さんは佐渡島をこの 1 年徹底的に PR するという事になっているので、私どももそれに連動して、私どものホームページですとか色々な SNS の媒体を使って、例えば佐渡の名産品のプレゼントキャンペーンなどを展開したりしています。自治体さんと地元業者さんが一体になって、私どものいろいろな媒体を使って PR されているということが、もう一つの今の大きな流れとしてあります。ご参考になるかは分かりませんが、他の就航先の事例ですとこういっただけを実施されています。

【委員長】

ありがとうございました。いまのお話しについて皆さんどうですか。

【松浦委員】

実際は名古屋空港で降りた人の多くが名古屋に行くとする、北の方に来ていただくように二次交通を整備しないといけないということですね。足がないと来られない。

【小幡委員】

そこは事業者さん単体ですと、色々デメリットがあると思いますが、そこを自治体さんの方でカバーしながら、皆さんが動きやすい形へもっていくということだと思います。

【委員長】

他にいかがでしょうか。

【松浦委員】

名鉄小牧ホテルさんの集客は今どうでしょうか。宴会は駄目だと思いますが。

【関委員】

ご察しのとおり、宴会はゼロでございます。Go To トラベルキャンペーンによって7月から10%ずつ宿泊は伸びておりまして、今月はおかげさまで80%ぐらいまで回復してまいりました。私ども、平日はビジネス関係が多いのですが、キャンペーンによって土日の一泊二食付きの設定をした観光客の方が非常に多くなっております。それに伴って地域共通クーポン券というのがありますので、その消費をたくさん取り入れていこうとしておりまして、私どものホテルにはシェフもおりますので、小牧の食材を使ったものでコーチンの卵を使ったデザートなどを色々考えながら提供しております。やはり、土日ですと一般の方は沢山買われていかれるように見受けられますので、やはり観光の方がみえると売上げに繋がると実感しております。また名古屋コーチンを10月からずっと出していますけれども、やはり少し鶏ではインパクトが弱いというお客さんの意見もありますので、私どもの料理でコーチンと飛騨牛の両方を食べられるといったものであるとか、食べ比べしていただけるとか、そういったものを考えながら、かなり販売数も伸びてきております。名鉄ですので鉄道で来ていただいたら、ランチやディナーなど、そういったものにもどんどん小牧の地区で参画できるように営業は続けていっております。まだまだキャンペーンが終わってからの怖いのですけれども、今のところは伸びておりますので続けていければと思います。

【委員長】

ありがとうございます。

池田委員はいかがでしょう。

【池田委員】

ピクトサインの件ですが、今お店に入るときに、名鉄小牧ホテルさんもそうだと思うのですが、体温を測りますよね。この例の中には体温に関してのものがないのですが、ピクトサインとして作る必要がないと考えているのですか。

【事務局】

今回資料として掲載しているものは一例ですが、ご意見のあった体温については、現状で作成しているピクトサインには従業員の体温測定を実施している旨のものだけです。今回のご意見も含めて公開した後に利用される事業者のご意見があれば可能な限り増やしていければとも考えています。

【池田委員】

追加もあり得ると考えていいということですね。

【事務局】

はい。

【委員長】

ありがとうございます。他はよろしかったでしょうか。

冒頭でもありましたが、今回の計画案について、場合によっては臨機応変に対応をしていくという前提で、現在についてはこの計画案における修正点は、大筋でないとしてよろしかったでしょうか。

【各委員】

<意見なし>

【委員長】

ありがとうございました。以上で本日の議題を終了させていただきます。進行を事務局へお返しします。

【事務局】

皆様どうもありがとうございました。それでは全体を通じて何かご意見ということも委員長にやっていただいたので、会を閉めさせていただきたいと思います。

計画案修正についてのご意見もありませんでしたので、本日の委員会で小牧市観光振興基本計画改定委員会を終了いたします。

なお、コロナが収束してからの予定となりますが、平常時での観光振興基本計画の改定が必要となりますので、その際にはまたご協力いただきたいと考えております。

長時間にわたりありがとうございました。